

東地区・大町自治会

「歴史と伝統を守り、つなげるまちづくり」

●加入世帯 44世帯 ●加入率 100%

活動内容

【大町自治会の紹介】

当町内は、馬場通り3丁目から1番町までカギ方の通りに面した旧奥州街道の古いまちです。創業100年を超える家が何件もあります。また、今は二荒山神社の渡御の際の休憩所になっており、天王際、菊水祭、御渡り祭など年4回のお通りには飾り付けをしてお迎えしております。

その他、宮まつり等大きなイベントを中心に会員の協力にて対応し、親睦も高まり活動しているところです。

【役員会】

役員の構成は、会長1名、副会長2名、会計1名、幹事1名、事務局庶務1名で、班は10班です。そのほかに評議員として、班から3名、各種団体長7名がおり、自治会総会の構成員となっています。

役員会は、事業計画に沿って開催していますが、祭事の準備には必ず関係者が集うので、事実上役員会になります。

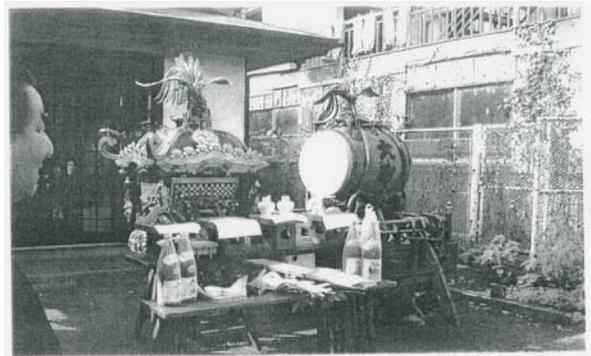
毎年、役員会の親睦旅行を実施しています。

【おしどり塚まつり】

町内には、おしどり塚公園があり、年に年度かの除草清掃を会員の協力により行っています。

公園内には、名のとおり、おしどり塚があり、市の史跡に指定されており、役所より当自治会に清掃、保存等を委託され責任があります。

また、毎年10月に塚の供養の為、「おしどり塚祭り」を開催しています。始めに供養を行い、そのあとダーツゲーム(景品沢山)や赤飯、とん汁、焼きそば、わたあめ等町内の男の人が腕を振るい準備して、当日、町内の人や近隣の方も集まり盛り上げてくれます。是非お越しください。



【大町神輿修復作業】

戦前の祭りは山車巡行の祭で、大町山車は、“日の出に鶴”でありましたが、昭和10年満州事変の頃、不況により芳賀町の町内に売却されました。

戦後、昭和30年祭再興の機運が盛り上がり、町内若手が中心となり、長老を説得して、浅草から神輿を購入しました。

爾来、幾多の祭りにその雄姿を披露しましたが、老朽化が進み、平成17年5月、大町自治会総会において、長年懸念であった神輿修復が満場一致で賛成可決され、町内に募金を依頼して、平成18年に完成し、町内こそって盛大に完成祝いをしました。

